

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
29年 第13号	29.12.5	<p>豚流行性下痢（PED）に関する請願</p> <p>平成25年10月に7年ぶりに国内で発生が確認された豚流行性下痢（PED）については、H28シーズン（H25.10～H29.8）までに全国1,286の農場で発生が確認されている。</p> <p>PEDは、発生した農場に大きな打撃を与えるだけでなく、消毒等の防疫対策を講じるための経費は、発生農場のみならず、国内全ての養豚農家の経営を圧迫するものである。</p> <p>茨城県内の農場においても、日々、飼養衛生管理基準に沿った管理の徹底を図り、ウイルスの侵入防止に努めているところではあるが、H29シーズン（H29.9～H30.8）に入り、早くも2例の発生が確認されており、感染拡大が懸念される場所である。（H25.11以降74例発生）</p> <p>農場防疫の徹底等により、発生件数並びに死亡頭数は年々減少傾向にはあるものの、万が一、PEDウイルスが農場に侵入すると子豚の死亡や生産性の低下など、経営に与える影響は甚大である。</p> <p>については、PEDの感染拡大防止に向けてより効果の高いワクチン開発や発生農場が受ける経済的損失を最小限度に抑えられるよう、下記事項について国の関係機関に対して強く働きかけを行うよう請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 現行ワクチンより効果の高いワクチンの開発に対する支援を行うこと。</p> <p>2 PEDの被害を受けた養豚農家の経済的損失を最小限に抑えられるよう互助制度の創設とその運営に係る財政支援を講じること。</p>	茨城県養豚協会 会長 倉持 信之	海 野 透 田 山 東 湖 飯 塚 秋 男 常 井 洋 治	農林水産	採択